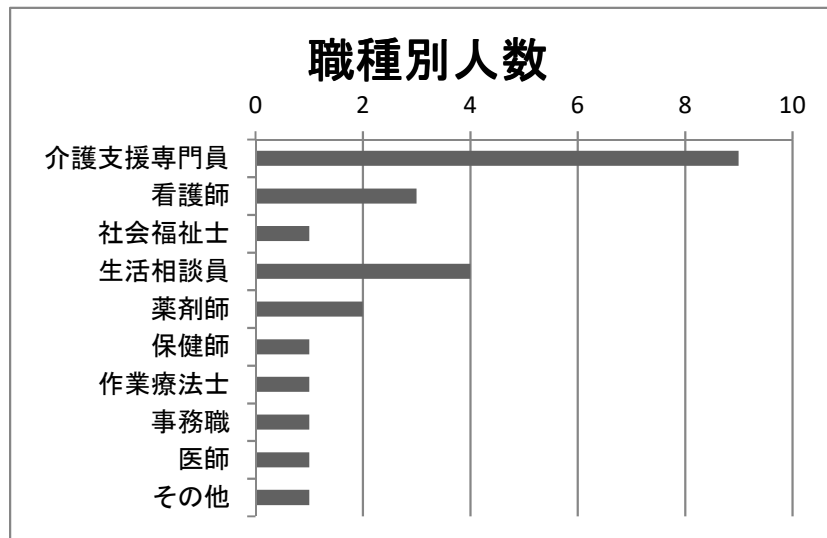
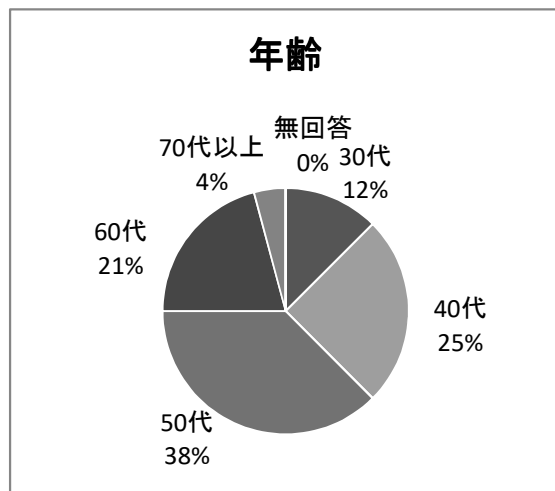


令和2年度第2回土浦市在宅医療介護連携多職種連携研修会(つちうLabo) 令和2年10月22日(木)

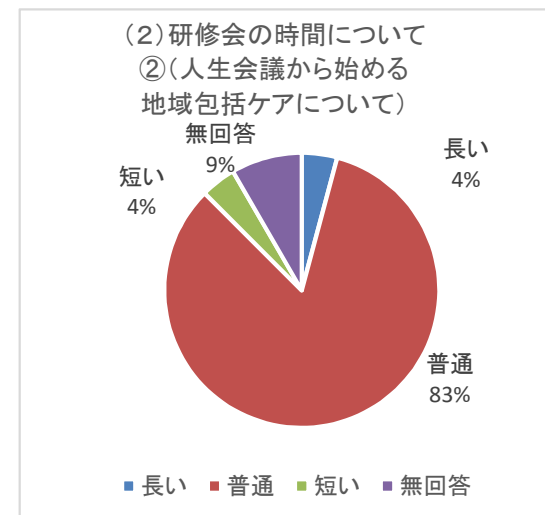
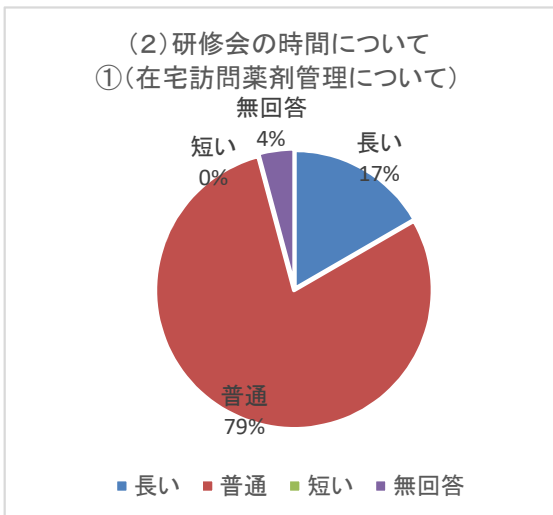
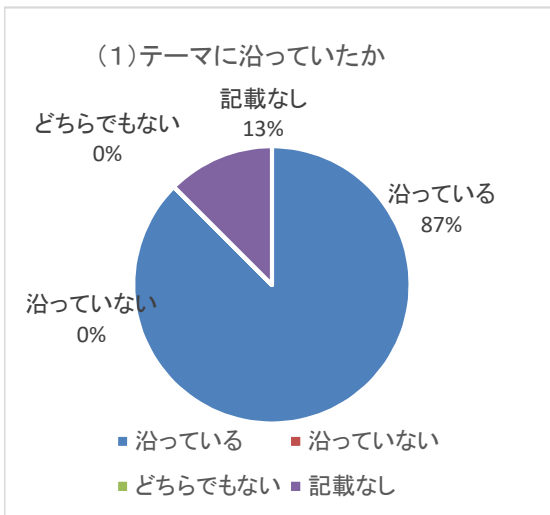
当日アンケート結果 回答 24名/24名出席 (回答率100%)

1参加者-(1) 年齢

1-(2) 職種

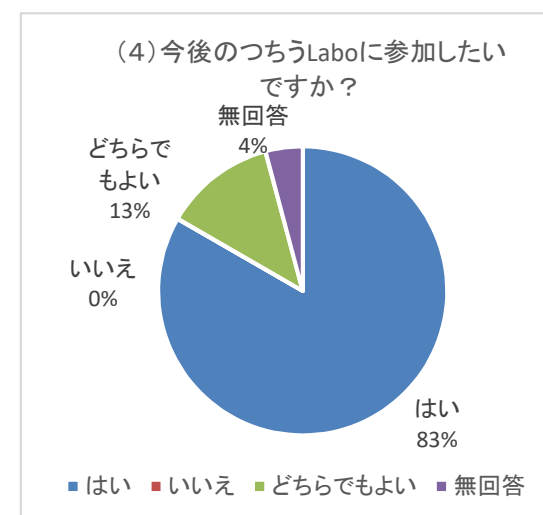
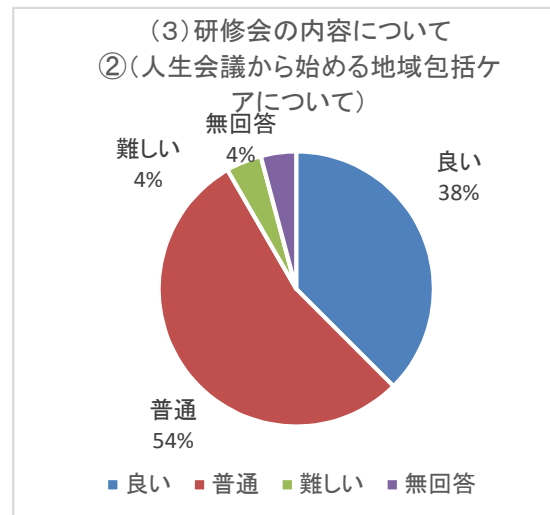
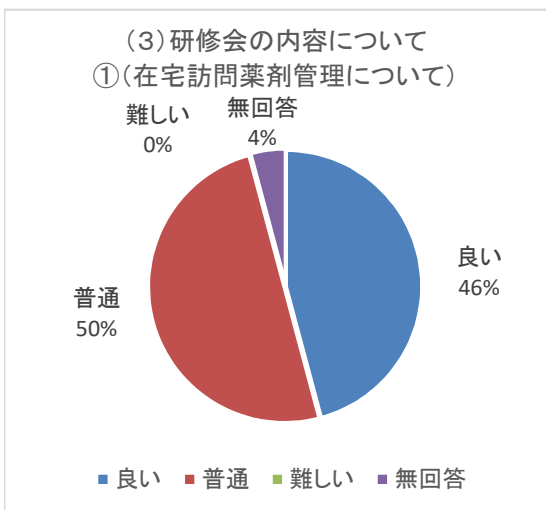


2 本日の研修会について -(1)テーマに沿った研修形式だったか? -(2)講話の時間について①②

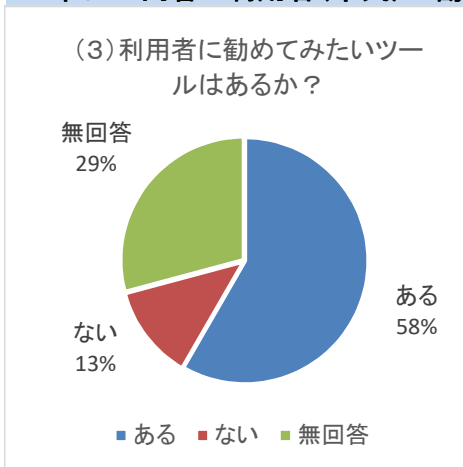


令和2年度第2回土浦市在宅医療介護連携多職種連携研修会(つちうLabo) 令和2年10月22日(木)

2 本日の研修会について –(3)講話の内容について①②



3 本日の内容で利用者(市民)に勧めてみたいと思った内容・ツールはありますか？



「ある」と回答した者14人の自由記述

- ・在宅対応薬局・・・5人
- ・身近な薬の窓口としての薬局・・・1人
- ・在宅ケア連携手帳・・・7人
- ・人生会議・・・1人

・市民向けの講座で「人生会議」について行ったのは大変良かったと思います。今後もぜひ続けてほしいです。

令和2年度第2回土浦市在宅医療介護連携多職種連携研修会(つちうLabo) 令和2年10月22日(木)

4 円滑な多職種連携のためには、どのような情報や機会が必要・役立つと考えますか？

- | | |
|--------------------------|---|
| ・連携担当者の連絡先・・・2名 | その他・・・5名 |
| ・ケア会議等の参加可能な時間帯・・・1名 | ICTツール |
| ・特記事項(得意分野・対応可能な病態)・・・2名 | 日々各業務にあたっているの、夜間の勉強会、できるかぎり参加したい。 |
| ・定期的に顔を合わせる場・・・2名 | ケース検討、カンファレンス |
| ・多職種が集まる勉強会・・・2名 | 多職種で連携体制ができれば、しっかりと対象者(高齢者と家族)にわかるように活用してください。
集まるのは難しい状況なので、リモートでの担当者会議やMCS(LINEのグループのようなものです)の活用 |

5 今後、どのようなテーマで意見交換会を行ってみたいですか？

- 実際の患者を例にあげての意見交換
認知症など
連携事業を住民はどこまで知っているか
連携ツールの開発(市民目線という…)

自由記載

- ・この期に(コロナなのに)開催ありがとうございます。
- ・講話・テーマの時間について、「在宅訪問薬剤管理について」今回は、資料記載内容を丁寧になぞっていただきましたが、もう少し要点のみをお話しいただくだけでも良かったかと思えます。
- ・市民が参加できる研修をしてほしい。(1)も(2)も市民がいない。発表している側の見方が優先しているように感じる。
- ・配布資料はとても参考になる内容だと思いますので、もう少し大きく印刷していただけることを希望します。
細かいので、1枚に2枚のスライドだと後で見直して活用できると思います。よろしく願いいたします。
- ・具体的に専門職の連携方法(薬剤師との)が知りたかった。⇒ケースの具体例、成功例を詳しく。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・薬剤師さんの役割、勉強になりました。いろいろな考え、意見が聞けて大変良かったです。ありがとうございました。